



2020年12月期 決算説明資料

オプテックスグループ株式会社

証券コード6914

2021年2月12日

<免責事項>

本資料に記載しております、オプテックスグループ株式会社の業績、戦略、事業計画等の将来予測を示す記述については、発表時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が記述されている将来予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

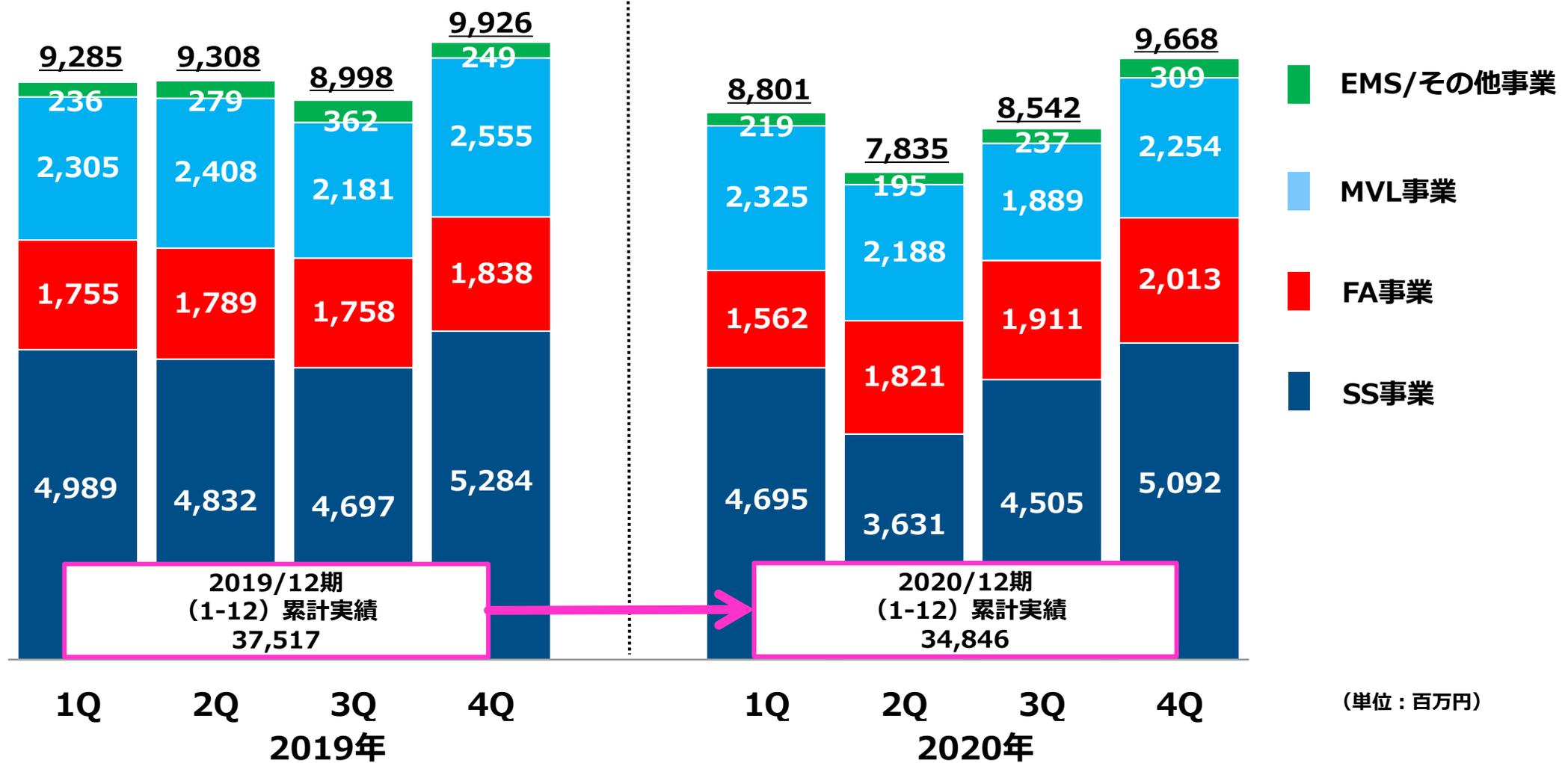
2020年12月期 連結決算のPOINT

- **売上高は、コロナ禍で経済活動が抑制されたことにより伸び悩み、前年度比で-7%**
- **営業利益は、経費削減等に努めたが、売上総利益の減少により、前年度比で-27%**

2020年12月期 連結決算総括

経営成績 (単位:百万円)		2019/12期 通期実績	2020/12期 通期実績	増減額	増減率
売上高		37,517	34,846	-2,671	-7.1%
営業利益 (営業利益率)		2,856 (7.6%)	2,098 (6.0%)	-758	-26.5%
経常利益		2,876	2,176	-700	-24.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益		2,197	1,395	-802	-36.5%
1株当たり当期純利益 (円)		60.02	38.59		
為替レート (円)	1USD	109.05	106.82		
	1EUR	122.07	121.81		

2020年12月期 連結売上高 四半期推移 (前年比)

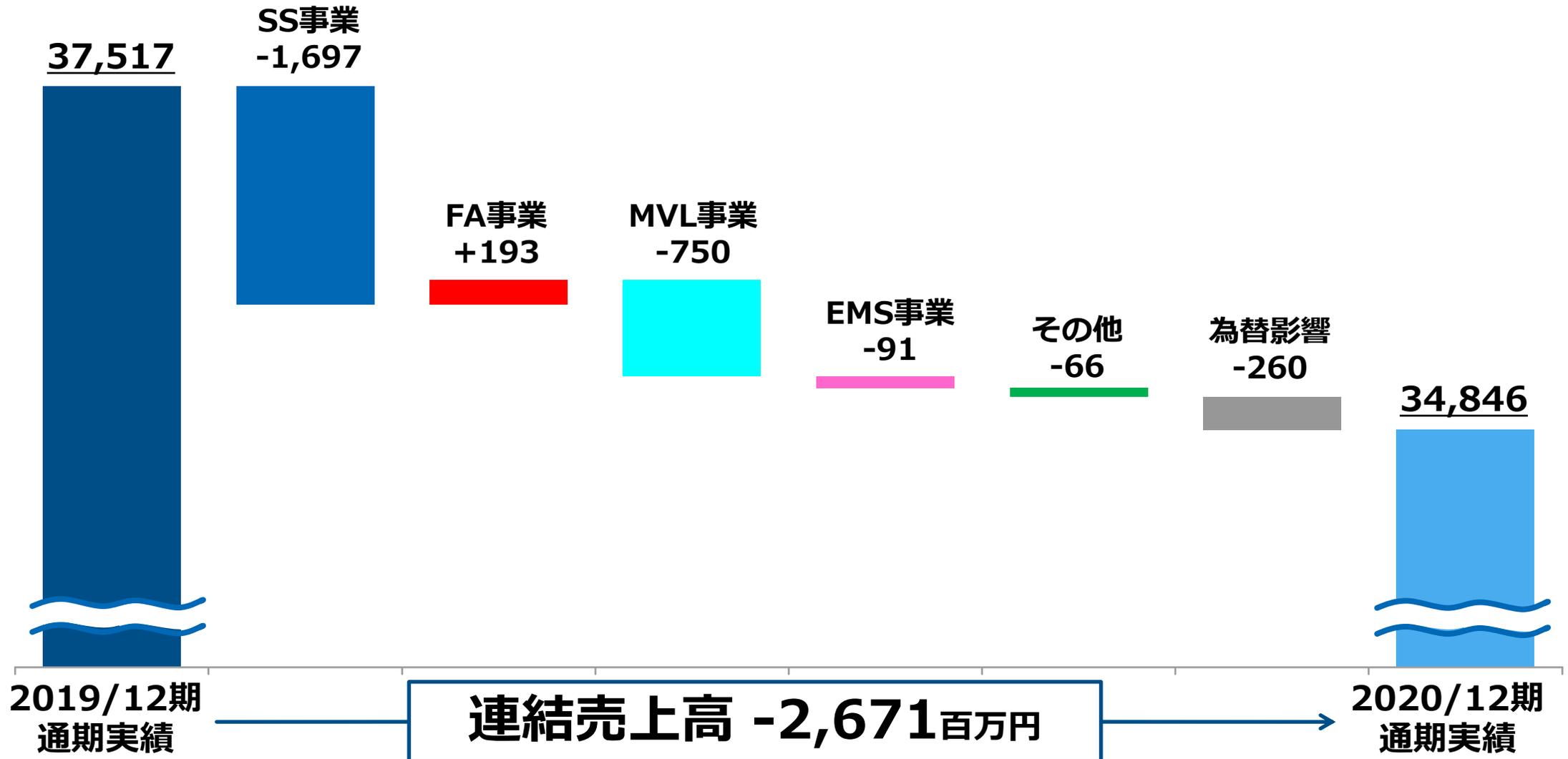


2020年12月期 連結決算 セグメント比較

経営成績 (単位:百万円)	2019/12期 通期実績		2020/12期 通期実績			
	売上高	営業利益 (営業利益率)	売上高	増減率	営業利益 (営業利益率)	増減率
SS事業	19,802	1,731 (8.7%)	17,923	-9.5%	1,275 (7.1%)	-26.3%
FA事業	7,140	596 (8.4%)	7,307	2.3%	684 (9.4%)	14.7%
MVL事業	9,449	532 (5.6%)	8,656	-8.4%	162 (1.9%)	-69.5%
EMS事業	570	76	471	-17.3%	47	-38.2%

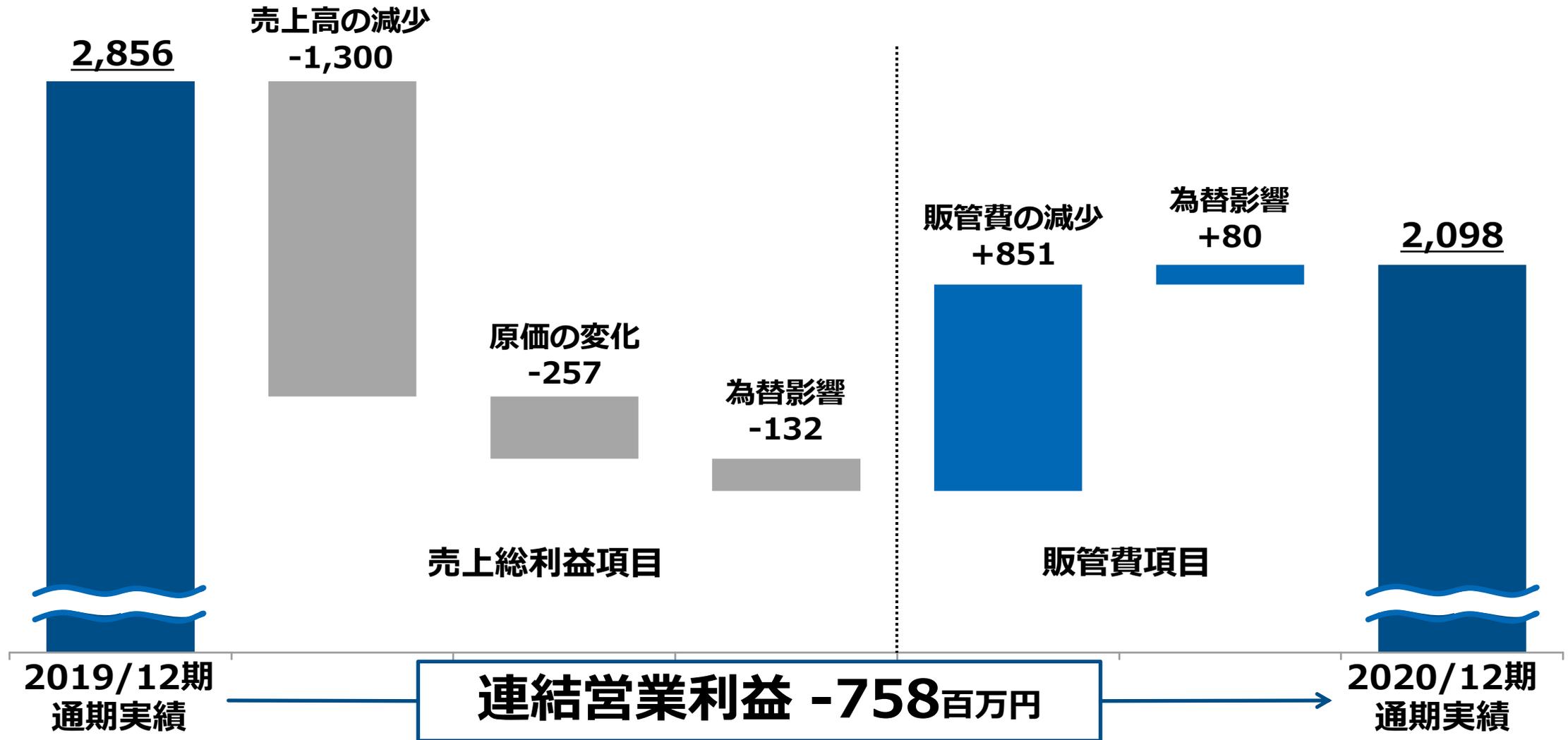
各セグメントの詳細情報は8ページ以降に記載

2020年12月期 連結売上高 増減要因（前年比）



(単位：百万円)

2020年12月期 連結営業利益 増減要因 (前年比)

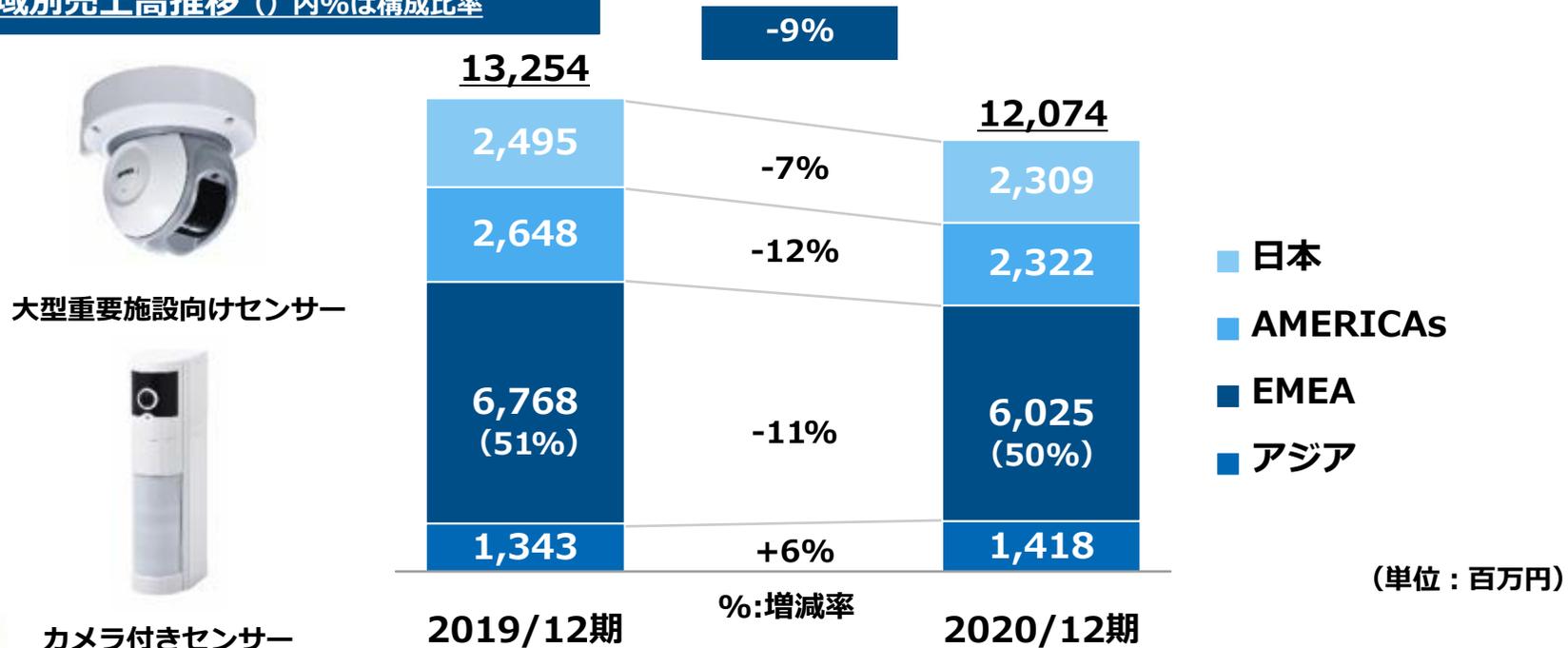


(単位：百万円)

セグメント・SS事業（防犯関連）

地域	2020/12期 通期実績
日本	警備会社及び大型重要施設向け屋外警戒用センサーの販売が伸び悩み減収
AMERICAs	営業・販売・設置活動の制限により、大型重要施設向け案件が先送りとなり減収
EMEA	営業・販売・設置活動の制限により、南アフリカを除く各国で、大型重要施設・商用施設・一般家庭向け屋外警戒用センサーの販売が伸び悩み減収
アジア	第4四半期に中国・韓国での大型重要施設向け案件の受注により増収

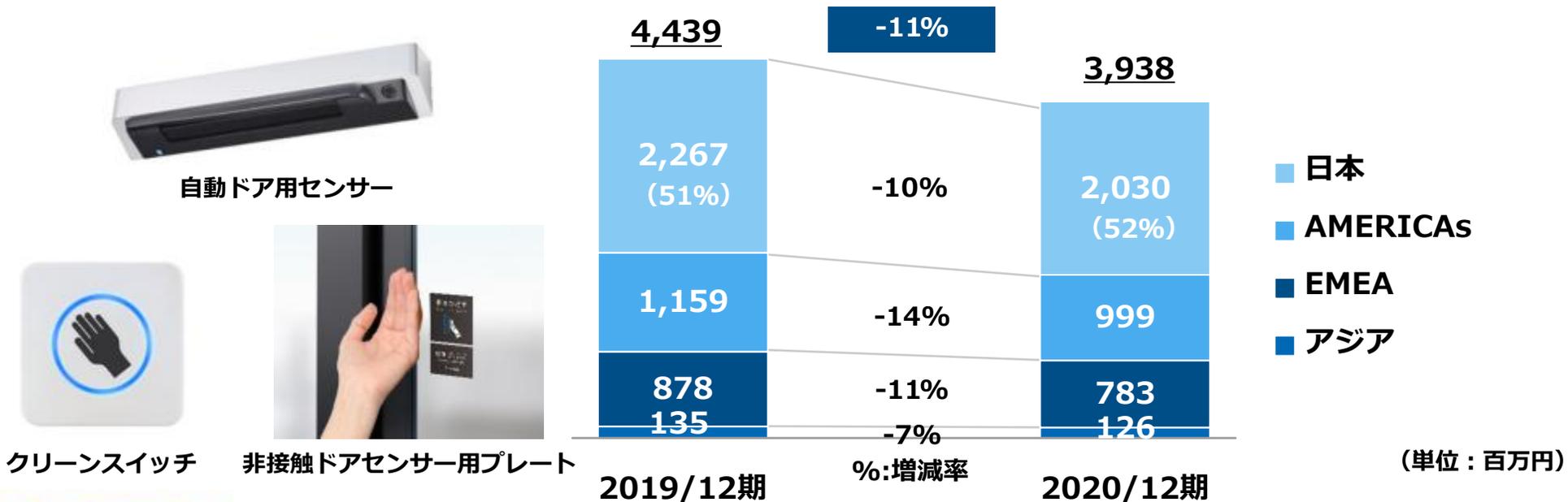
地域別売上高推移（）内%は構成比率



セグメント・SS事業（自動ドア関連）

地域	2020/12期 通期実績
日本	主要マーケットの店舗関連の投資抑制が継続し減収
AMERICAs	北米地域で大手OEM先の営業・販売・設置活動が制限され減収
EMEA	欧州地域で大手OEM先の営業・販売・設置活動が制限され減収

地域別売上高推移（）内%は構成比率



自動ドア用センサー



クリーンスイッチ



非接触ドアセンサー用プレート

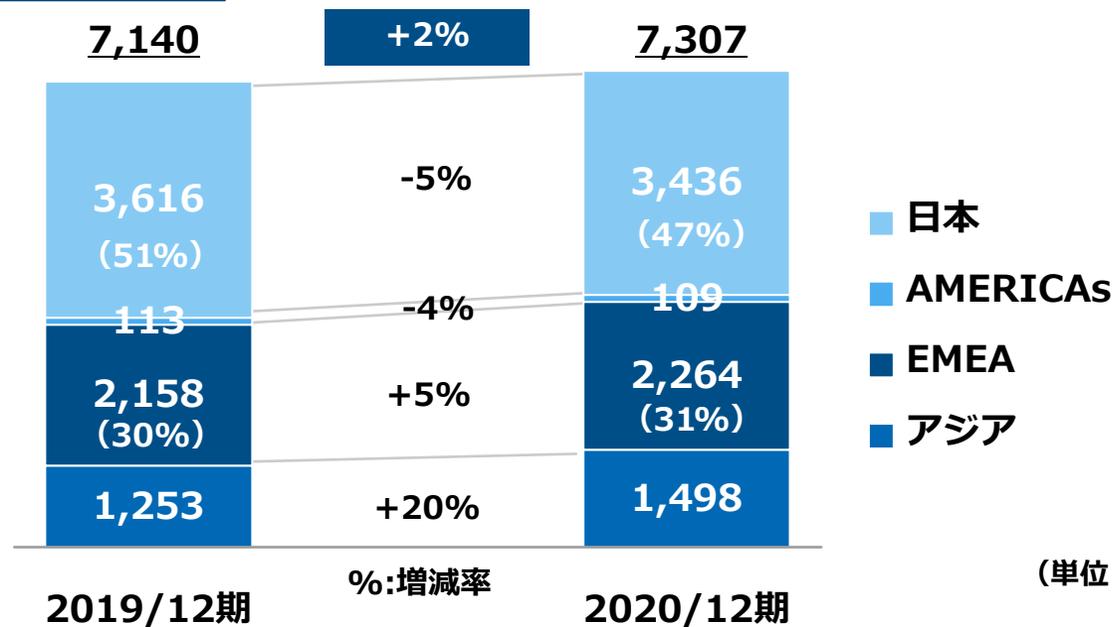
セグメント・FA事業（ファクトリーオートメーション事業）

地域	2020/12期 通期実績
日本	食品業界向けに、画像センサーの販売が堅調に推移したものの、自動車関連業界での設備投資需要が伸び悩んだことにより減収
EMEA	ドイツのOEM先への販売が急速に回復し増収
アジア	中国の設備投資需要の増加により、変位センサー等の販売が順調に推移し大幅増収

地域別売上高推移 () 内%は構成比率



変位センサー



(単位：百万円)

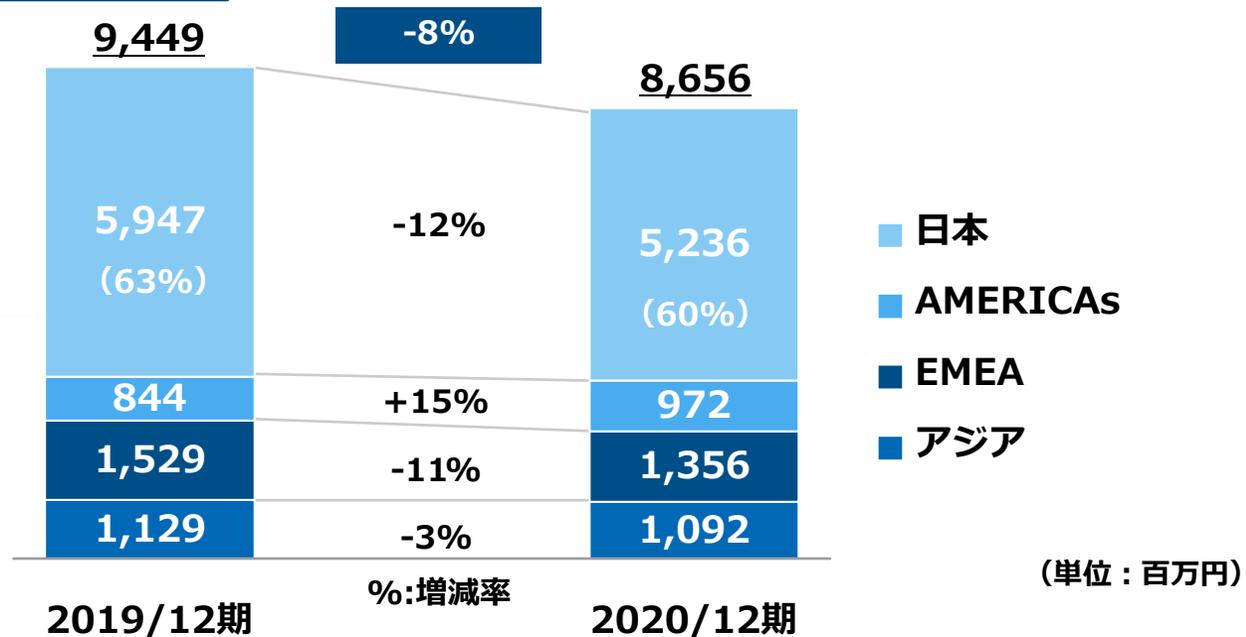
セグメント・MVL事業（マシンビジョン照明事業）

地域	2020/12期 通期実績
日本	5 G 関連投資向けの引き合いは増加したものの、2Q以降の営業活動制限が影響し減収
AMERICAs	北米地域で医療業界向けの販売が順調に推移したことにより増収
EMEA	都市封鎖の影響により、営業活動が制限されたことにより減収
アジア	中国での販売は回復したものの、その他の地域では営業活動が制限され減収

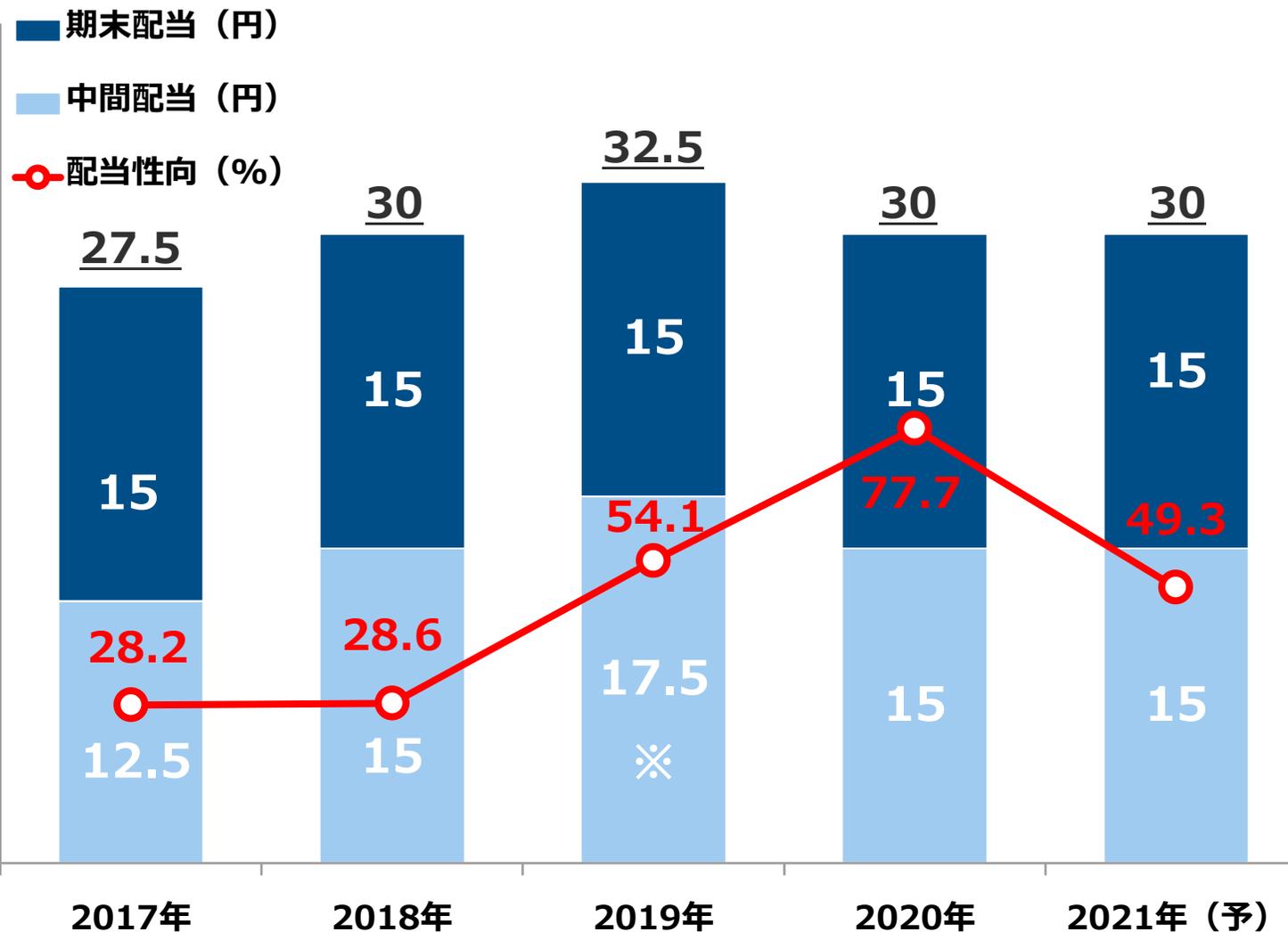
地域別売上高推移 () 内%は構成比率



画像検査用LED照明



配当金・配当性向・ROE



自己株式の取得 (実績)

	2018年	2019年
取得総額	15億円	10億円
取得株数	70万株	67万株

※創立40周年記念配当2.5円を含む

ROE	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年 (予)
ROE	12.6%	12.3%	6.8%	4.3%	-

ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す！

中期連結経営目標

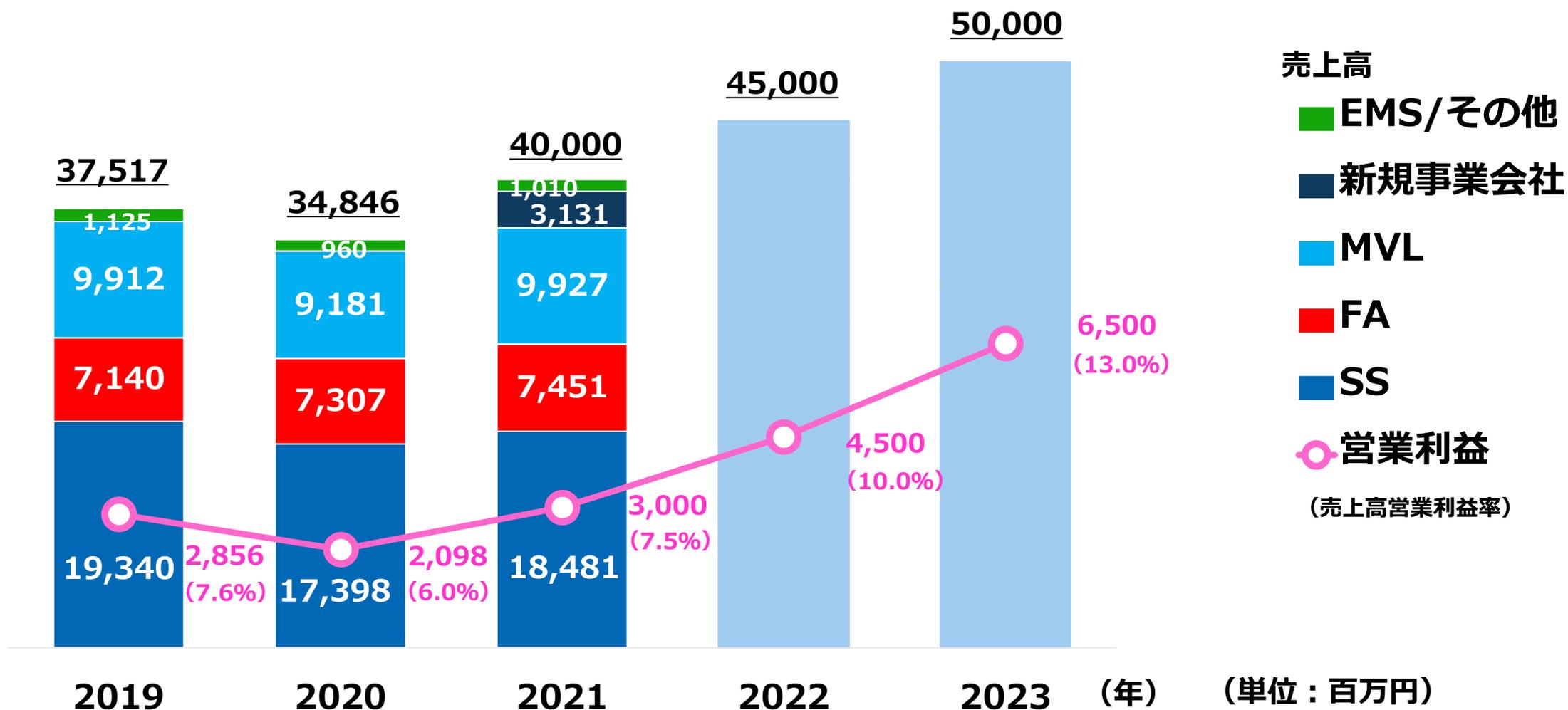
2022年度グループ連結での売上高営業利益率10%以上を目指し固定費の圧縮継続と一人当たり利益向上
連結売上10%成長の力をつけ、2023年度500億円再挑戦！！

グループ経営方針

グループ本社機能強化により、グループ全体の間接コスト増加を抑制。
既存事業拡大、新規事業推進により、再び成長軌道に乗せる。



3ヶ年で連結売上高10%成長と営業利益率の回復を目指す



注) 孫会社のGARDASOFT VISION LIMITED (英国) をSS事業 (防犯関連) からMVL事業へ再編したことにより、2019、2020年度実績は組換え表示しています。

中期経営計画達成のための施策

- ① M&Aによる事業シナジーの創出
- ② 欧州地域における営業力の強化
- ③ 「モノ売りからコト売り」へ、事業モデルの変革

①M&Aによる事業シナジーの創出

会社名 サンリツオートメーション株式会社

所在地 東京都町田市南成瀬4-21-6

設立 1971年3月13日

代表者 代表取締役社長 鈴木 一哉

売上高 37億円（2020年8月期）

営業利益 3億円（2020年8月期）

事業内容 産業用コンピュータシステムの
開発・製造・販売

強 み 産業用装置・システム向けに耐環境性、耐ノイズなどの信頼性の高い製品を提供
長期継続サポート、メンテナンスが可能



サンリツオートメイションが得意とする社会インフラ向け案件で
「コト売り」（システム販売）を推進

①交通制御



②駐車場管理



③鉄道の安全管理



両社の強みを組み合わせた新しい事業機会の創出に期待

オプテックス(株)がオランダに新会社を設立

欧州地域で成長戦略「モノ売りからコト売り」を更に推進

会社名 Optex Security B.V.

所在地 オランダ ハーグ

営業開始 2021年1月1日

代表者 代表取締役社長 木田 匡哉

従業員 8名

目的 「画像確認ソリューション」の普及・拡販

顧客密着型の営業活動・技術サポート拡充
物流網の最適化



画像確認ソリューションの特長

悪意がある
侵入者の場合

①カメラ付きセンサーで検知



②映像を送信



③出動依頼



即時対応

④駆け付け

①カメラ付きセンサーで検知

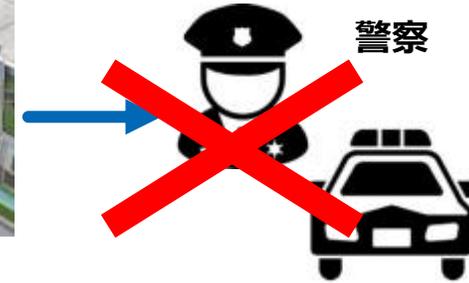


②映像を送信



③映像をメール転送

⑤回答



不要な出動
ゼロ

④

「要出動」「出動不要」
ボタンで選択



シーシーエス(株)がオランダに新会社を設立

欧州地域のグループ各社を統括し同地域での成長性を強化

会社名 CCS Europe Holding B.V.

所在地 オランダ ヒルバーサム市

設立 2021年1月1日

代表者 取締役兼CEO 松原 浩

従業員 4名

目的 欧州地域のグループ連携・統括強化
競争力の最大化



建物外観

② 欧州地域における営業力の強化 MVL事業



欧州各社の連携を強化し、トータルソリューション展開を加速する



欧州地域での売上高を2025年40億円に引き上げる (目標)

オプテックス(株) 「モノ売り」から「コト売り」への変革

業界初の自動ドアセンサーを活用したシェアリングサービス 「OMNICITY (オムニシティ)」を運用開始 (2021.2~)

ビーコン機能を搭載した自動ドアセンサーから
通行者のスマートフォンに情報を発信。



ビーコン機能付き
自動ドアセンサー

(例：スーパーマーケット)



来店 >>> クーポン受信 >>> お得にお買物

店舗オーナー



マッチング



店舗のエントランスで
情報発信したい企業



- ・利用可能場所検索プラットフォームのご提供
- ・有効活用のご提案

DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進による店舗運営の効率化を実現

<https://www.optexgroup.co.jp/>

会社概要

会社概要

会社名	オプテックスグループ株式会社
所在地	滋賀県大津市
創立日	1979年5月25日
資本金	2,798 百万円
売上高	34,846百万円
営業利益	2,098百万円
決算月	12月
証券コード	東京証券取引所 6914
連結従業員数	2,171名

(数値：2020年12月期実績)



オプテックスグループは
センサーの総合メーカーです。

「見えないものを、見るしごと。」

【会社名の由来】

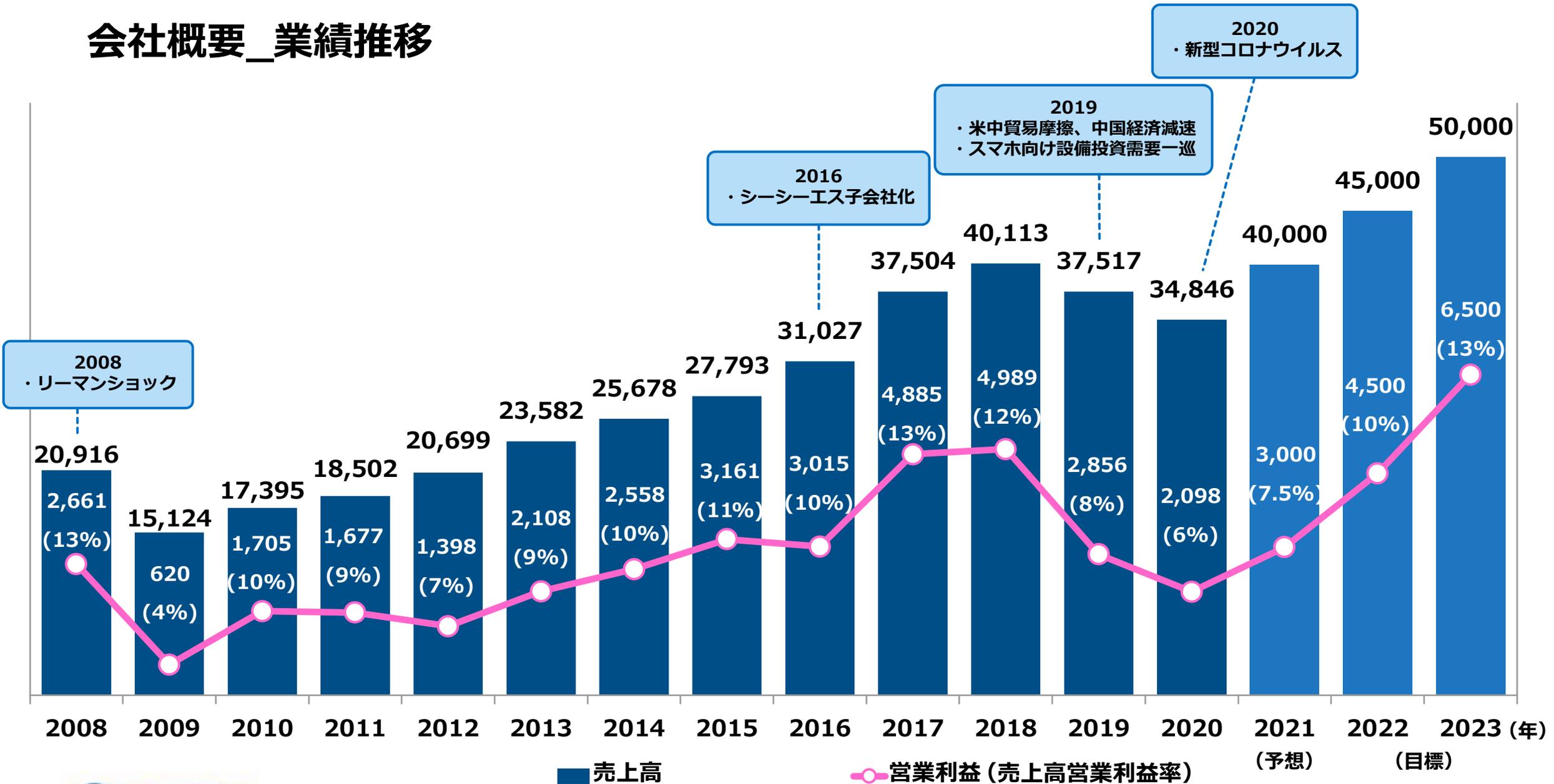
オプテックスグループ

OPTEX

OPTical TEchnology
光学技術

未知、未来を表す
X (エックス=ギリシャ語)

会社概要_業績推移



会社概要_沿革

- 1979年 創立
- 1980年 世界初、赤外線利用の自動ドア用センサーを開発
- 1985年 米国カリフォルニアに子会社を設立
- 1991年 店頭公開（現JASDAQに相当）
- 1996年 屋外防犯用センサーを開発
- 2001年 東証二部上場
- 2002年 オプテックス・エフエー株式会社を設立
- 2003年 東証一部上場
- 2005年 中国に自社工場を設立
オプテックス・エフエー株式会社上場
- 2016年 シーシーエス株式会社を子会社化（63.5%の株式を取得）
- 2017年 オプテックス・エフエー株式会社を完全子会社化
オプテックスグループ株式会社を**持株会社**とする新体制に移行
- 2018年 シーシーエス株式会社を完全子会社化
- 2020年 サンリツオートメイション株式会社を子会社化



創立当時



自動ドア用センサー1号機



屋外防犯用センサー



オプテックス・エフエーが開発した工場用センサー



中国の自社工場（広東省東莞市）



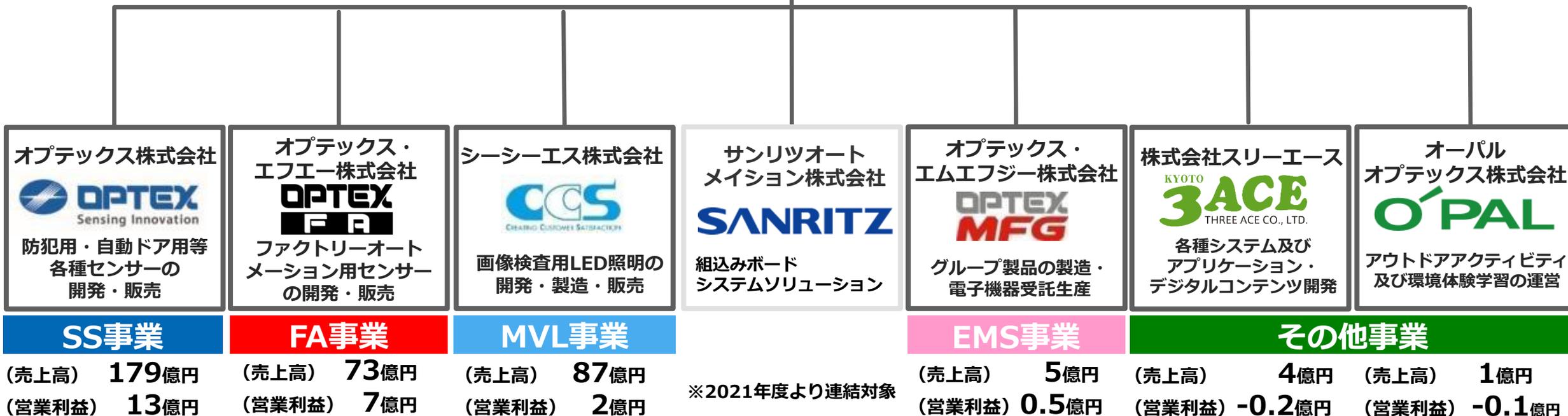
シーシーエスの画像検査用LED照明



会社概要_体制図

オプテックスグループ株式会社

(東京証券取引所 第一部上場 証券コード：6914)

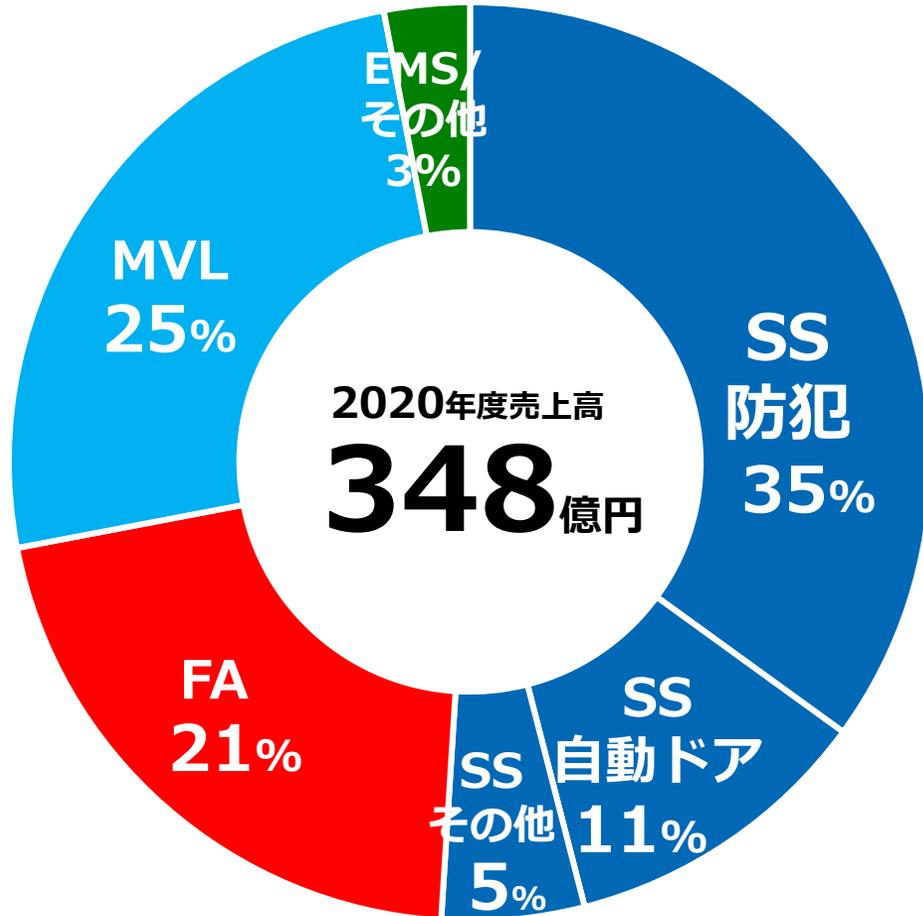


(売上高、営業利益：2020年12月期実績)

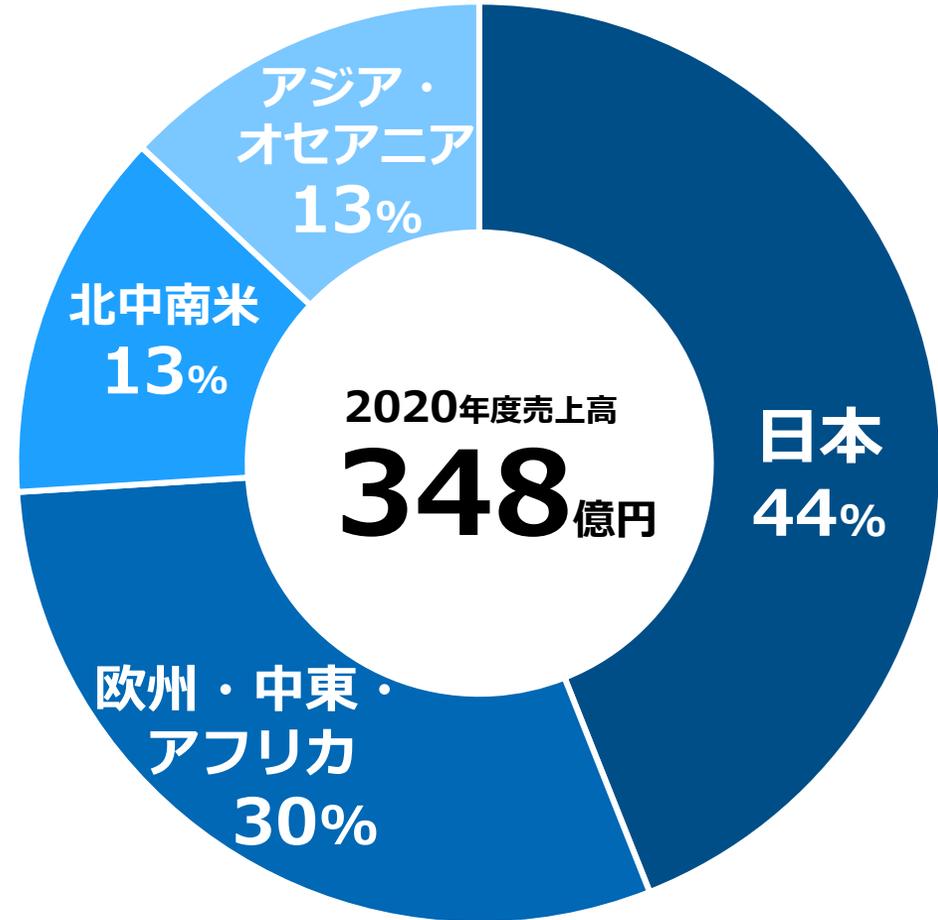


会社概要_売上構成比

事業別



地域別



会社概要_マーケットシェア

「グローバルニッチNo.1」

防犯

40%

屋外用侵入検知センサー



重要施設向けセンサー

カメラ付きセンサー

自動ドア

30%

自動ドア用センサー



赤外線センサー



クリーンスイッチ



タッチスイッチ

画像検査用照明

30%

画像検査用LED照明



各種LED照明

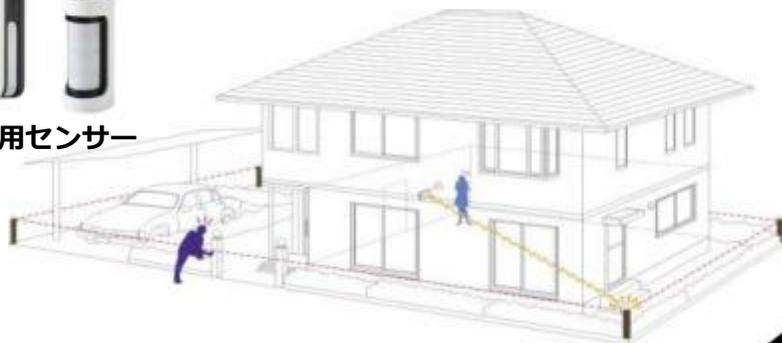
事業概要_防犯センサー

屋外用侵入検知センサーで世界トップシェア

一般家庭・商業施設など



屋外用センサー



通報

駆け付け



【警備会社】



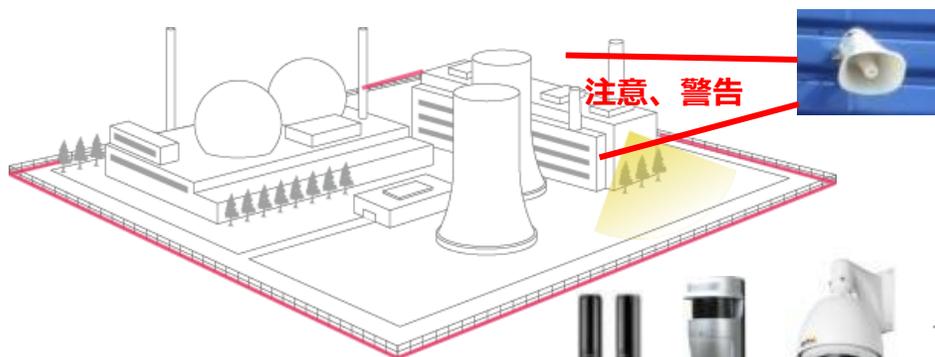
高級住宅（海外）



オフィス



大型重要施設



注意、警告

通報
+
画像

【警備員室】
画像監視



発電所・石油インフラ施設



空港



屋外用センサーと
監視カメラが連動

事業概要_自動ドアセンサー

国内シェア50%、海外シェア20%

2020年6月 自動ドアセンサーが、経済産業省認定「新グローバルニッチトップ企業100選」に選定
(2013年に続き2回目の受賞)

1980年、当時はまだ軍事用途が中心だった赤外線を、自動ドアセンサーに応用しました。



マットスイッチ (床)



自動ドア用センサー1号機



赤外線センサー (頭上)

ショッピングセンター



コンビニ向けシェア60%以上



新幹線車両内自動ドア



工場、倉庫用シャッター



フォークリフトを確実に検知

事業概要_ファクトリーオートメーション用センサー



工場の生産工程で自動化、省人化に役立つセンサーを提供

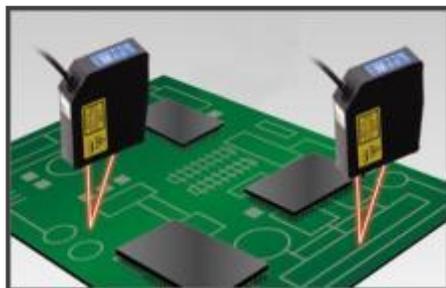
変位センサー



半導体、電気・電子部品業界向け



スマートフォンのフレームの高さ測定



基板の傾き、ソリ測定

画像センサー



三品業界向け（食品、医薬品、化粧品）



弁当・惣菜の賞味期限印字検査

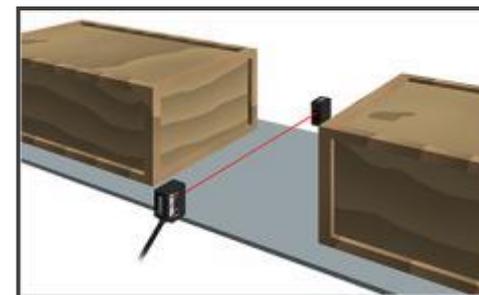


牛乳の賞味期限印字検査

光電センサー



物流業界向け



段ボールや木箱の通過検出



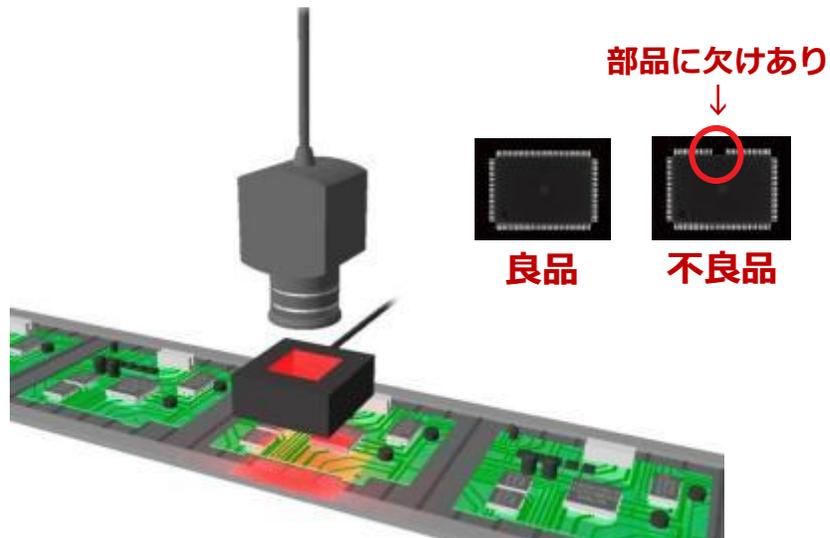
自動倉庫ではみ出し検出

事業概要_画像検査用LED照明

CCS は1993年設立の、LEDを活用した**検査用照明**メーカー

検査用照明とは？※

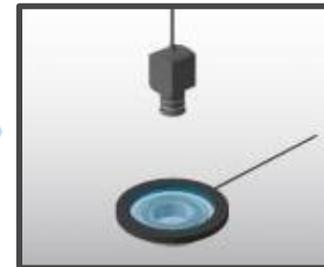
工場で何かを生産する場合は、**各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり**、検査対象物を照明・電源、レンズ・カメラを使って撮像し、画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



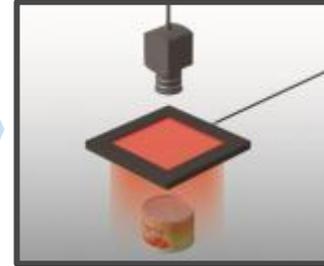
プリント基板の実装部品欠陥検査



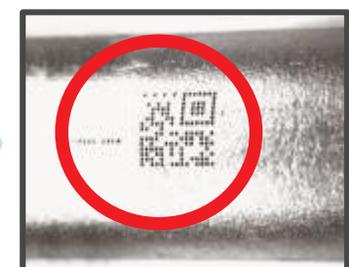
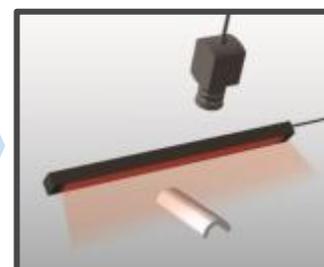
ベアリングの刻印文字撮像



缶詰表面の汚れ撮像



金属表面上のQRコード撮像



※ 画像処理用の照明として利用されることから、マシンビジョン照明と言います。

ESGの取り組み 当社はESG課題に積極的に対応し企業価値の向上に努めています。



Environment (環境)

環境問題を解決する製品・サービス

工場・倉庫で省エネに貢献するシャッター用センサー

横切るだけの動きに反応せず、向かってくる動きだけに反応することで、無駄な開閉を防止、空調効率を改善



IoTを活用した、簡易水質測定システム



Social (社会)

地域社会との関わり

CSR活動の一環として、立地環境を生かした社会貢献「びわこ環境体験学習プログラム」を運営



カヌー



外来魚しらべ



プランクトン観察

Copyright (C) 2021 OPTEX GROUP CO., LTD.



Governance (ガバナンス)

ガバナンス体制の取り組み

取締役・監査等委員11名中、3分の1以上の4名に独立社外取締役（弁護士・公認会計士を含む）を選任

2020年3月開催の定時株主総会で初めて女性の社外取締役1名を選任



取締役会での活発な議論を通じた意思決定で戦略の質を高め、更なる企業価値の向上を実現

<https://www.optexgroup.co.jp/>